



新年あけましておめでとうございます。

トリプルアイズ広報の白石です。

年初より心の痛む災害や事故が起きました。被災された皆様や事故に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げます。1日も早く、安心した暮らしが戻ってきますように。

昨年はトリプルマガジンにお付き合いいただき、誠にありがとうございました。

ご多忙なか貴重な時間を割いて読んでくださる皆様に有益な内容をお届けできるよう、今年も様々なアイデアを考えて配信していけたらと思っております。2024年も引き続きお付き合いいただけますと幸いです。

新年を迎え、少しリニューアルしてお届けいたします！

さて、今回のコラムは「2024年はこうなる！3分でわかるAI最新情報」という内容でお届けします。

ニュースは4つ

- 2024年8月期第1四半期決算説明会 開催のお知らせ
- logmi IR Liveにて個人投資家様向けオンラインIRセミナーのご案内
- 資産運用EXPOに登壇します
- 【製造業向けセミナー】生産性向上と労災防止に向けた最新の成功事例とベストプラクティスをご紹介します。

また本号より新連載「今日から使えるChatGPTビジネス活用Tips」がスタート。

ChatGPTにまつわる小ネタをQ&A形式でご紹介します。

最後に、IT批評では最新記事「鈴木大拙からスチュワート・ブランドへ ホールアースは宇宙技芸論で語れるか？」をご紹介します。

ぜひ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 2024年はこうなる！3分でわかるAI最新情報
2. トリプルニュース

3. 今日から使える ChatGPT ビジネス活用 Tips

4. IT 批評

5. 編集後記

1. 2024 年はこうなる！ 3分でわかる AI 最新情報



昨年は生成 AI で明け生成 AI で暮れた 1 年でしたが、2024 年はどんな技術革新が進むのでしょうか。まずは社会の主な動きから見ていきます。

1 月 台湾で総統選挙

3 月 ロシアで大統領選挙

4 月 物流業界で時間外労働の上限規制

6 月 所得税減税実施

7 月 パリ夏季オリンピック開催／東京都知事選挙

10 月(?) 現行の健康保険証が廃止されマイナ保険証に

11 月 アメリカ大統領選挙

今年は世界中で選挙が行われます。結果はもちろんのこと、民意の測り方に新しい技術がどう活用されるのかにも注目です。なかなか日本では選挙の DX が進みません。2002 年以降、10 の自治体で合計 25 回、電子投票が行われたそうですが、なんと現在は全ての自治体で廃止しているとか。肝となるのがマイナンバーカードです。マイナ保険証の導入が秋ですから、そこから選挙も含めた公的機関の DX が一気に進むと見られています。

そして物流 2024 年問題も待ったなし。これまで当たり前だと思っていたサービスが人手不足によって当たり前ではなくなるのが物流業界以外でも発生しそうです。人手不足解消に向けた新たなイノベーションが生まれることを期待したいです。

AI 関連のニュースも見てください。こちらは 2024 年も生成 AI が牽引しそうです。

2024 年はハード面に注目

あらゆる分野で AI の導入と活用が進む一方、それを支えるコンピューティング性能に注目が集まっています。

[「半導体、4～6 月に需要好転へ AI や EV がけん引」\(日本経済新聞 1/4\)](#)

生成 AI(人工知能)向けデータセンターや電気自動車(EV)向け半導体などが需要をけん引し、半導体大手は増産に動くようです。

[「NVIDIA、生成 AI の処理 7 割高速化 PC 用半導体を開発」\(日本経済新聞 1/9\)](#)

パソコンに組み込んで使うことで、AI を使ったソフトの開発や活用が容易になり、生成 AI の普及がさらに進みそうです。

[「CPU 比で最大 100 倍の性能を発揮、AI 特化型 GPU 搭載クラウドインフラの実力」\(IT Media 12/19\)](#)

AI に特化した GPU サーバを従量課金制で提供するクラウドサービスも出てきました。

マルチモーダルな AI が普及、セキュリティ面ではリスクも高まる

テキストだけでなく、画像や音声などさまざまなデータをまとめて扱える「マルチモーダル」な AI が普及すると見られています。

[「投資意欲が高まる AI 関連製品・サービス」\(ITR『IT 投資動向調査 2024』\)](#)

2024 年度新規導入可能性ベスト3は、1 位 機械学習プラットフォーム、2 位 生成 AI、3 位 電子契約だそうです。

「マルチモーダル AI が数秒後の世界を生成」(プリファード・ネットワークス代表・岡野原大輔氏 週刊ダイヤモンド 12/23,30 より)

テキストに限らない領域で、今までにないような多様性と汎用性を持った生成 AI が確実に登場するとしています。

[「生成 AI の悪用リスクが増大 セキュリティー大手が警鐘」\(電波新聞 1/8\)](#)

生成 AI を悪用し、世論操作を狙う誤情報／偽情報の拡散行動が拡大するとともに、生成 AI の音声クローニング(なりすまし)を使った詐欺も増加するとのこと。生成 AI による防御策も講じられているようで、いちごっこの様相です。

いかがでしたでしょうか？ 2024 年は業務や生活でますます AI に触れる機会が増えそうです。スポーツ観戦好きの私が見逃せないのが夏のオリンピック。AI などの新技術が活用されるのを見るのもオリンピックの楽しみの一つです。今年はパリで開かれるのですが、どんな新技術が私たちを驚かせてくれるのでしょうか。

最新技術に関する知見であなたの会社の AI 化をサポートします

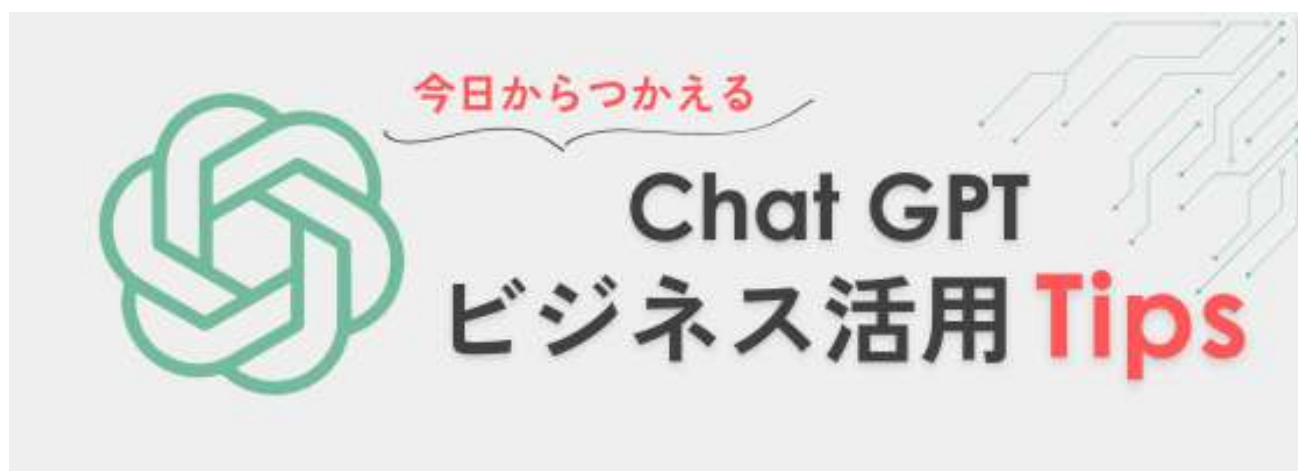
↓ ↓ ↓

[業務の AI 化をゼロからサポート「AI ラボ」](#)

2. トリプルニュース

- [2024 年 8 月期第 1 四半期決算説明会 開催のお知らせ](#)
- [logmi IR Live にて個人投資家様向けオンライン IR セミナーのご案内](#)
- [資産運用 EXPO に登壇します](#)
- [【製造業向けセミナー】生産性向上と労災防止に向けた最新の成功事例とベストプラクティス](#)

3. 今日から使える ChatGPT ビジネス活用 Tips



新連載です！ 皆様、ChatGPT は活用されていますか？

毎日使っている方も、ときどき利用される方も、登録は済ませてあるという方も、それぞれかと思えます。当社は IT 企業ということもあり、ヘビーユーザーが多い印象です。

このコーナーでは、「今日から使える ChatGPT ビジネス活用 Tips」と題し、業務ですぐに利用できる、簡単なコンテンツをお届けしていきます。業務効率化や会話の小ネタとしてお役にいただけると嬉しいです。

Q. ChatGPT を使用するうえで知っておくべき3つのポイントは？

1.最新情報は教えてくれない

無料版「GPT-3.5」は 2021 年 9 月までの情報を元に答えを出します。最新情報を得たい場合は、有料版「GPT-4」に申し込む必要があります。

2. 正確性、信頼性は担保されていない

実際、誤った回答が出ることがあります。出力内容は最終的に人の目で精査する必要があります。

3. 個人情報、機密情報はそのまま入力しない

情報漏洩の可能性を考慮し、個人情報や機密情報は一般的な名称に置き換えることをお勧めします。

一見正しい情報を出してくれそうな ChatGPT ですが、言葉の後ろに来る可能性の高い言葉をつなげているだけで、意味は理解していません。

出力データをそのままコピーして使うことは避けた方が良いでしょう。

4.【IT 批評】今月の編集長レビュー

「鈴木大拙からスチュワート・ブランドへ ホールアースは宇宙技芸論で語れるか？」



本年も IT 批評をよろしくお願いいたします。

新年最初の編集長レビューです。話題の書『[ホールアースの革命家 スチュアート・ブランドの数奇な人生](#)』を紹介しつつ、パーソナルコンピュータやインターネット時代を用意したヒッピー世代の想像力がいかにして形作られたのか解説します。さらにユク・ホイの『[中国における技術への問い 宇宙技芸試論](#)』から、AI 時代の哲学を見つける糸口を探ります。

ぜひご一読ください！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

新年ということで、少しリニューアルを加えたトリプルマガジンをお届けいたしました。今年は昨年以上に、読者の皆様にとって“読んでよかった”と感じていただける内容を丁寧に考え、執筆し、お届けしてまいります。ご意見やご感想などございましたらお気軽にお寄せください！

まだまだ寒い日が続きます。体調にはどうかお気をつけください。

それでは、次号もお楽しみに！
